

田名部組(八戸)、ヤマコン(山形)合同会社

# メガソーラー稼働

八戸

総合建設業の田名部組(八戸市、田名部智之代表)



合同会社はちのへプロジェクトが整備した太陽光発電所。21日、八戸市

とコンクリート圧送業のヤマコン(山形市、佐藤隆彦社長)が設立した合同会社はちのへプロジェクトが、八戸市金浜地区に整備を進めてきた大規模太陽光発電施設(メガソーラー)2カ所が完成し21日、同地区の折場沢太陽光発電所で竣工式が開かれた。最大出力は4978kwで、年間発電量は一般家庭約1400世帯分に相当する542万272kwh。

同プロジェクトによると、敷地総面積は13万847平方mで、八戸工業大の土地を借りて建設。総事業費は約14億5千万円。2016年11月に整備に着手、

17年6月に終了した。運用は既に始まっている。

固定価格買い取り制度を利用し、発電した電力は全量、東北電力に売電。管理・運営は、田名部組とN.T.Tファシリティーズが担当する。事業期間は20年間。

田名部組が関わるメガソーラー事業は3件目。ヤマコンにとっては国内9カ所目の発電所で、同地区が最大規模となる。

竣工式には、事業関係者ら約40人が出席した。佐藤社長は「東北の企業同士で力を合わせ、安定した電力供給に貢献できれば」と強調。田名部代表は「地域の資源を生かし、地元や東北の経済に貢献していきたい」と述べた。売電による収益の一部は、同大に寄付される予定。(玉川那津美)